

産婦人科

《概要》

平成20年度より、市立貝塚病院産婦人科との集約化が成り、4月から泉州広域母子センターとして再編され、当科は周産期センター産科医療センターとしての機能を担う事になりました。

婦人科手術と悪性腫瘍の化学療法は貝塚病院に産婦人科医が行い、当院では夜間休日の産婦人科一次・二次救急、分娩、母体搬送、産科手術を担当しています。6階山側病棟は泉南地区の分娩を集約した周産期専門の施設として生まれ変わりました。

これにより以前にも増して小児科、内科、外科、救命センター等との緊密な連携のみならず泉州地域の産婦人科医院との病診連携も強め、ハイリスク妊娠の集学的管理や早産児の受入などもしています。対外的には地域周産期センター及びOGCS(産婦人科相互援助システム)準基幹病院となり、母体の緊急搬送受入数も平成 21 年度は 273 件に増加しました。

外来診療体制は従前と変わらず、産科・婦人科ともに初診再診を受けることにしています。現在、特定妊婦、更年期、腫瘍、思春期外来など専門性の高い外来診療を続けています。また平成 13 年度より開始した助産婦外来は今後の妊産褥婦指導の中心となるべく、助産婦の特性を生かした外来づくりを行っております。

今後は全国的にも注目されているこのシステムを発展させ、広域に亘る中核病院としての役割を果たせるように間断なき努力をしていきます。

《実績》

疾患統計

| | | H 1 6 | H 1 7 | H 1 8 | H 1 9 | H 2 0 | H 2 1 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 総分娩数 | | 866 | 742 | 726 | 684 | 1056 | 1039 |
| 産科手術 | 帝王切開術 | 201 | 189 | 186 | 179 | 269 | 246 |
| | 頸管縫縮術 | 4 | 1 | 3 | 1 | 3 | 3 |
| | 流産手術※ | 11 | 19 | 18 | 8 | 39 | 30 |
| | その他 | 1 | 7 | 6 | 3 | 8 | 6 |

《業績》

(1) 学会研究会報告(2009.3～2010.3)

| 番 号 | 演 題 | 発 表 者 | 学会・研究会名 | 年 月 日 |
|-----|--------------------------|---|-------------------|------------|
| 1 | 病院集約化でいかに病院機能が向上したか | 荻田和秀 | 周産期・救急医療専門家会議 | 2009. 3. 1 |
| 2 | 産婦人科施設統合運営による一次救急の状況について | 久松武志 藤森由香 福井 温 鹿戸佳代子 荻田和秀 吉田 晋 岡澤美佳 橋本洋之 井阪茂之 長松正章 光田信明 木村 正 | 第 61 回日本産婦人科学会・総会 | 2009. 4. 2 |

| 番号整理 | 演 題 | 発 表 者 | 学会・研究会名 | 年 月 日 |
|------|--|--|------------------------|-------------|
| 3 | 病院の集約化により医師の負担は軽減したか | 藤森由香 橋本洋之 久松武志 釣谷香揚子 岡澤美佳 福井 温 鹿戸佳代子 井阪茂之 荻田和秀 長松正章 前田真紀子 光田信明 | 第 61 回日本産婦人科学会・総会 | 2009. 4. 2 |
| 4 | 病院の集約化後、住民はどこで分娩するのか | 橋本洋之 福井 温 釣谷香揚子 吉田 晋 岡澤美佳 三村真由子 井阪茂之 荻田和秀 長松正章 森重健一郎 光田信明 | 第 61 回日本産婦人科学会・総会 | 2009. 4. 2 |
| 5 | 都市部における産婦人科集約と一次救急への波及効果 | 久松武志 | 第 12 回日本臨床救急医学会総会・学術集会 | 2009. 6. 11 |
| 6 | 泉南地区における『婦人科医療センター』の役割 | 橋本洋之 釣谷香揚子 吉田 晋 岡澤美佳 井阪茂之 荻田和秀 長松正章 | 第 120 回近畿産婦人科学会総会・学術集会 | 2009. 6. 27 |
| 7 | 大阪における重症妊娠合併症への対応に関する実態調査報告(第一報) | 末原則幸 杉本 壽 小倉裕司 中谷壽男 鍛冶有登 松岡哲也 木村 正 荻田和秀 依岡寛和 松尾重樹 塩田 充 池田智明 桂木慎司 | 第 120 回近畿産婦人科学会総会・学術集会 | 2009. 6. 27 |
| 8 | 大阪における周産期緊急搬送コーディネーター1年間の運用結果とその問題点 | 末原則之 光田信明 松尾重樹 依岡寛和 今井史朗 辻本大治 中村哲生 荻田和秀 志村研太郎 高木 哲 | 第 120 回近畿産婦人科学会総会・学術集会 | 2009. 6. 27 |
| 9 | 当科における前置胎盤の手術成績と大量出血に対する止血法の比較検討 | 石井貴子 澤田健二郎 衣笠友基子 香山晋輔 磯部 晶 金川武司 富松拓治 荻田和秀 木村 正 | 第 120 回近畿産婦人科学会総会・学術集会 | 2009. 6. 27 |
| 10 | 大阪における重症妊娠合併症への対応を目指した周産期医療と救急医療との連携 | 末原則之 杉本 壽 小倉裕司 中谷壽男 鍛冶有登 松岡哲也 木村 正 荻田和秀 依岡寛和 松尾重樹 塩田 充 池田智明 桂木慎司 | 第 120 回近畿産婦人科学会総会・学術集会 | 2009. 6. 27 |
| 11 | 主題「産婦人科の新しい潮流」 「産婦人科における病院統合の成果と現状」 | 荻田和秀 | 平成 21 年度第 2 回日医生涯教育講座 | 2009. 7. 23 |
| 12 | 「不思議のホルモン オキシトシン」 | 荻田和秀 | 第 138 回和歌山市産婦人科部会研修会 | 2009. 7. 25 |
| 13 | 妊娠中に脳出血でもやもや病と診断された一例 | 高橋 恵 | 第1回泉州広域母子医療センター症例検討会 | 2009. 9. 17 |
| 14 | 瘢痕部妊娠に対してUAEを施行した二例 | 井阪茂之 | 第1回泉州広域母子医療センター症例検討会 | 2009. 9. 17 |
| 15 | 広汎性子宮頸部摘出術を施行した一例 | 吉田 晋 | 第1回泉州広域母子医療センター症例検討会 | 2009. 9. 17 |
| 16 | CCRTが著効した子宮頸部小細胞癌の一例 | 中川美生 | 第1回泉州広域母子医療センター症例検討会 | 2009. 9. 17 |

| 番号整理 | 演 題 | 発 表 者 | 学会・研究会名 | 年 月 日 |
|------|---------------------------------|---|-----------------------------------|-------------|
| 17 | 近接した公立病院における産婦人科共同運用についての包括的研究 | 橋本洋之 福井 温 荻田和秀 長松正章 森重健一郎 木村 正 光田信明 青木恵子 赤井研樹 藩俊毅 西条辰義 | 日本周産期新生児医学会 第 28 回周産期学シンポジウム | 2010. 1. 16 |
| 18 | 「産婦人科医療改革グランドデザイン 2010 にむけて」 | 荻田和秀 | 第1回 「拡大医療改革委員会」兼「産婦人科医療改革公開フォーラム」 | 2010. 1. 24 |
| 19 | 救命センターで帝王切開を行ったPPCMの一例 | 石井貴子 | 第2回泉州広域母子医療センター症例検討会 | 2010. 3. 27 |
| 20 | メソトレキセート投与でコントロールし得た頸管妊娠の一例 | 中川美生 | 第2回泉州広域母子医療センター症例検討会 | 2010. 3. 27 |
| 21 | ピル処方中に発見された若年悪性卵巣腫瘍 | 藤森由香 | 第2回泉州広域母子医療センター症例検討会 | 2010. 3. 27 |
| 22 | 下腹部痛にて腹腔鏡精査を行い、低悪性度卵巣腫瘍と診断された一例 | 高橋 恵 | 第2回泉州広域母子医療センター症例検討会 | 2010. 3. 27 |

（２）総説(2009.1～2010.3)

| 番号整理 | 題 名 | 著 者 | 著書・誌名 | 巻 (号) | ページ | 年 月 日 |
|------|---------------------------|------|---------------------------------|------------------|---------|-------------|
| 1 | 妊娠編 細菌性膣症 | 荻田和秀 | (株)メディカ出版 ペリネイタルケア 2009 新春増刊 | 通巻 359 号 | 14-17 | 2009. 1. 10 |
| 2 | 産褥編 周産期心筋症 | 荻田和秀 | (株)メディカ出版 ペリネイタルケア 2009 新春増刊 | 通巻 359 号 | 243-247 | 2009. 1. 10 |
| 3 | 特集 スクリーニング検査 徹底理解 BPS | 荻田和秀 | (株)メディカ出版 ペリネイタルケア 2009 | vol. 28 no. 6 | 62-64 | 2009. 6. 1 |
| 4 | フロンティア 泉州地域での産婦人科集約化のとりくみ | 荻田和秀 | 全国自治体病院協議会雑誌 2009.6 | 第 48 巻 第 6 号 | 11-17 | 2009. 6. 1 |

（３）邦論文

| 番号整理 | 題 名 | 著 者 | 著書・誌名 | 巻 (号) | 年 月 日 |
|------|-----------------------------------|---|-------------|---------------|---------|
| 1 | 本学における active management of labor | 荻田和秀 富松拓治 澤田健二郎 上田 豊 金川武司 衣笠友基子 坂田正博 木村 正 | 産婦の進歩 | 第 61 巻 2 号 | 2009. 5 |
| 2 | 研究フロンティア 着床期子宮局所における STAT-3 活性の役割 | 中村仁美 香山晋輔 谷口 武 荻田和秀 熊澤恵一 張 慶 筒井建紀 古山将康 杉野法広 田村博史 金田安史 木村 正 | 日本生殖内分泌学会雑誌 | vol. 14 | 2009 |

（４）英論文

| 番号整理 | 題 名 | 著 者 | 著書・誌名 | 巻 (号) | ページ | 年 月 日 |
|------|--|---|---------------------------------|-------|-------|----------|
| 1 | Calcineurin / NFAT pathway : anovel regulator of parturition | Tabata C. Ogita K. Sato K. Nakamura H. Qing Z. Negoro H. Kumasawa K. Temma-Asano K. Tsutsui T. Nisimori K. Kimura T | Am J Reprod Immunol 2009 Jul | 62(1) | 44-50 | 2009 Jul |